

## 平成29年度 第1回 学生・教員懇談会報告書

1. 期日 平成29年7月3日（月）16:30～17:40
2. 教職員 荒牧弘範、戸田晶久、村山恵子、安川圭司、副田二三夫、松延千春、上野雅継、  
江藤和彦、宮本明憲 計9名
3. 学生 1年～6年（5年を除く）から選出 計14名
4. 場所 大会議室
5. 懇談テーマ（学習・学生生活・学内施設などについて）
6. 出席学生14名に向けて

### Q1. 満足している点

#### 6年

- ・研究室があり、最新の青本も揃っているので自習に最適である。
- ・自習室多くあり気分転換できる。

#### 4年

- ・国試対策や補習など充実している。
- ・朝補習は頭も良く働くので良い。

#### 3年

- ・先生方の教育への取組みに満足している。

#### 2年

- ・先生と学生の距離が近い。質問しやすい。
- ・補習・補講があり、質問機会が多い。

#### 1年

- ・チュートリアルで気軽に相談できる。
- ・放課後でも先生に質問できる。
- ・集中力が続くように授業中に工夫をされている。（深呼吸や息抜きトークなど）
- ・補習で基礎から丁寧に教えてくれる。

### Q2. 改善をして欲しい点

#### 6年

- ・学校で残って勉強しなければいけない状況。強制的に感じる。

#### 4年

- ・学外交流が少ない。

#### 3年

- ・友人同士で話し合っただけで学習する場を増やして欲しい。

#### 2年

- ・食堂などにPC数台欲しい。
- ・USBなど使用している状況で、学生に対するネットセキュリティに関して指導があまい。
- ・レポート提出時に個人の記述内容が盗まれないようにして欲しい。

- ・受講態度が悪い学生に注意しない先生がいる
- ・カフェテリアや食堂の開室時間を延長して欲しい。
- ・2か月先の時間割まで早めに知らせて欲しい。

1年

- ・他大学との交流の機会を設けて欲しい。
- ・食堂をさらに長く開放して欲しい。
- ・全員の先生に集中力が続くような授業中をお願いしたい。
- ・先生へLINEで質問したが、返信がない。

Q3. 他大学の交流を提言した学生に対して、具体的にどのような交流をしたいか。

4年

- ・学生にとって、将来的にも他職種連携が大切と思う。薬学部なので例えば他大学の医学部や看護学部などの交流は良い経験になると思う。学園グループの他大学や短大の授業を聴講するのも良い。

1年

- ・他大学薬学部に通ってる友人から講義進捗が早いと聞いた。(本学に不安を覚える) 他大学の学生との情報交換は重要である。

Q4. Q3の1年生に答えて

6年

- ・現役生国試合格率90%以上である。心配ないと思う。
- ・学力が低い学生もいる。授業スピードが速ければいいということでもないと思う。

Q5. その他

- ・座席指定のために、勝手に移動した学生の前方の席に座りたいができない。
- ・学食のメニューと数を増やして欲しい。
- ・先生の在室状況が判るようにして欲しい。
- ・学生に対してお客様扱いし過ぎではないか。特にオープンキャンパスやフレッシュマンキャンプ時の学生リーダーに感じる。もっと厳しく指導していいのではないか。精神的に甘やかしている気がする。
- ・授業中など緊急時に、即時事務室へ連絡ができる電話などを各階に設置したほうが良い。

7. 今後に向けて

本懇談会は、学生から忌憚りの無い意見が出された。学生の意見を前向きに検討し、対応する。

以上